

安全衛生委員会報告

部局名	環境・社会理工学院(大岡山地区)
会議名	2025 年度 環境・社会理工学院(大岡山地区)安全衛生委員会
開催日時	2025 年 4 月 14 日(月) 10:00～11:25 (本館 3 階第 2 会議室)

議 題

1. 各学院安全衛生委員会委員長の選出

- ・2025 年度安全衛生委員会関係名簿の通り、各学院の委員長が選出された。

2. 2025 年度 各学院(大岡山地区)安全衛生委員会について

- ・各学院(大岡山地区)安全衛生委員会関係名簿、安全に関係する委員、各学院での輪番について説明。
- ・学内の安全衛生管理体制、各学院の組織図について説明。理事長が事業者となる。

3. 各学院 安全衛生委員会細則および安全管理室部会内規について

- ・例として工学院等の安全衛生委員会細則について説明。上位規則となる、東京科学大学防災規則が制定され次第、発効となるため、細則内の日付が空欄となっている。

4. 2025 年度の活動計画について

- ・3学院の安全衛生委員会としての 2025 年度年間活動計画について説明。4 月に委員会を開催、毎月安全管理室部会を開催するが、実質的にこの部会が委員会に相当し、審議した内容を各学院、系に持ち帰り、報告していただいている。7/3 には合同の安全パトロールを予定している。
- ・この年間活動計画に基づき、各学院長を責任者として「安全衛生マネジメント活動計画書」を作成。(工学院等の例を紹介)
- ・資格の項目について昨年度の補助実績、資格調査、補助対象について説明。資格取得は重要と考えており、特に第一種衛生管理者、衛生工学衛生管理者、危険物取扱者を重視している。独立法人化に際して取得された先生方の退職により有資格者が減っており、若い先生に取得してほしい。採用時にお声掛けいただきたい。
- ・今年度、局所排気装置の定期メンテナンスは、5 巡目(3 年周期)の 2 年目となる。現状の問題点として、3 学院間のアンバランスとキャンパス間の違いがあげられる。

5. 2024 年度の安全成績

- ・2019 年度からの事故件数の推移を見ると、2020 年度にコロナ禍により減少したが、実験再開により再度増加し、その後減少傾向にあったが、昨年度は半減した。リスクアセスメントの定着と各研究室における安全教育の徹底によるものと考えられる。
- ・昨年度の特徴としては、年度初めに消防への通報となる火災事故が2件発生した。また、高電圧装置による感電事故が同じ研究室で再発した。人的被害については、前期にはなかったが後期になって2件発生した。
- ・事例から見たリスクと予防対策を研究室での安全教育で活用していただくと共に、安全管理室のサイトに掲載している事故ヒヤリハット事例、KS シートを参考にしていきたい。

6. 2024 年度毒物管理のための在庫確認作業(棚卸し)の結果について

- ・3/4 に説明会を開催した。今年度は対面と Zoom で実施し、すずかけ台地区も含めて 124 名が参加した。
- ・毒物保有研究室は 63 で、3/28 現在で1研究室が未提出。(入力済みだが、理由書を依頼) 全体的に誤差もかなり減っており、理由書の提出も減少しているが、誤差が生じているのに気付かず署名をする教員も見られた。
- ・今年度の毒劇物取扱者名簿の作成について、後日依頼する予定である。

7. 防災関係について

- ・安否連絡票(青)は、各研究室で更新していただきたい。2部作成して一部を保有、もう一部を防災訓練に使用されるとよい。旧工学系管理の建物の1階入口に防災保管庫を設置しているが、防災訓練の前にチェック表で内容物を確認していただきたい。
- ・昨年度の防災訓練後、西地区からのぼり旗作成の意見があり、全学予算で西地区と南地区の各建物ののぼり旗が作成された。のぼり旗は防災保管庫で保管する予定。石川台地区、緑が丘地区ののぼり旗についても作成を検討していただくよう依頼済み。
- ・災害時等緊急連絡方法カードについては、2025 年度分を作成予定。大学名と総合安全管理部門名を変更する。メールアドレスは、isct に変更の方向で確認する。他に掲載してほしい情報があれば連絡していただきたい。

8. その他

1) 2025 年度予算(案)について

- ・従来、予算について委員会で提示したことはないが、3学院の安全管理について必要な予算案を確認いただきたい。

このことについて、上記のとおり報告いたします。

令和7年4月14日

環境・社会理工学院長 岩波 光保